

教科書の調査研究報告書

校種	教科	教科用図書目録に掲載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	社会（地理）	4	3

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
基礎・基本の 定着	<p>1 学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地球の姿を見てみよう」のようにタイトルを示し、タイトルの右横に1時間の「学習課題」として「どのように、どのような、どうしたら～でしょうか。」等の表現形態で示している。</li> </ul> <p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の各地域を「自然環境」「交通や通信」「人口や都市・村落」「産業」「生活・文化」などのテーマに焦点をあてて考察する構成となっている。</li> <li>日本の領域について本文4ページで扱い、そのうち「北方領土・竹島と尖閣諸島」のタイトルで北方領土、竹島、尖閣諸島をめぐる問題を2ページで取り上げている。</li> </ul> <p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域について、地域区分ごとで主題（地球的課題）に視点をあてて取り上げている。</li> <li>基礎的・基本的な技能を身に付けるための「スキル・アップ」コーナーを32カ所設けている。また、学習内容の説明や関連する内容を取り上げた「地理にアクセス」というコーナーを設けている。</li> <li>単元の最後に学習内容を確認する「基礎・基本のまとめ」というページを設けている。</li> </ul>	<p>1 学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「身近なものから見える世界」のようにタイトルを示し、タイトルの下に1時間の「学習課題」として「どのように、どのような、どうして～でしょうか。」等の表現形態で示している。</li> </ul> <p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の各地域を「自然環境」「人口や都市・村落」「歴史的な視点」「産業」「交通や通信」「伝統文化と地域の変化」などのテーマに焦点をあてて考察する構成となっている。</li> <li>日本の領域について本文4ページで扱い、そのうち「日本の領土をめぐる」のタイトルで北方領土、竹島、尖閣諸島をめぐる問題を2ページで取り上げている。</li> </ul> <p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域について、地域区分ごとで主題（地球的課題）に視点をあてて取り上げている。</li> <li>学習内容を説明したコラム「地理の窓」を54カ所設けている。また、「LOOK!」というコーナーを設けている。</li> <li>単元の最後に学習内容を確認する「学習のまとめと表現」というページを設けている。</li> </ul>	<p>1 学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「私たちの住む地球を眺めて」のようにタイトルを示し、タイトル右横に1時間の「学習課題」として「どのように、どのような、なぜ～だろうか。」等の表現形態で示している。</li> </ul> <p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の各地域を「自然環境」「交通や通信」「環境保全」「産業」「人口や都市・村落」「生活・文化」などのテーマに焦点をあてて考察する構成となっている。</li> <li>日本の領域について本文4ページで扱い、北方領土、竹島尖閣諸島を取り上げている。</li> </ul> <p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域について、地域区分ごとで主題（地球的課題）に視点をあてて取り上げている。</li> <li>学習内容に関連した「地理プラス+」「共生」「環境」「防災」「解説」の5つのコーナーを設けている。基礎的な技能を身に付けるための「技能をみがく」のコーナーを23カ所設けている。</li> <li>単元の最後に「章の学習を振り返ろう」というページを設けている。</li> </ul>	<p>1 学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地球の姿をながめよう」のようにタイトルを示し、タイトルの左横に1時間の「学習課題」として「どのように、どのような、なぜ～でしょうか。」等の表現形態で示している。</li> </ul> <p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の各地域を「自然環境」「人口や都市・村落」「歴史的背景」「産業」「交通や通信」「持続可能な社会づくり」などのテーマに焦点をあてて考察する構成となっている。</li> <li>日本の領域をめぐる問題について本文4ページで扱い、そのうち「日本の領域をめぐる問題をとらえよう」のタイトルで北方領土、竹島、尖閣諸島をめぐる問題を2ページで取り上げている。</li> </ul> <p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域について、地域区分ごとで主題（地球的課題）に視点をあてて取り上げている。</li> <li>学習内容を説明した「地理+α」というコーナーを16カ所、技能を習得するための内容を解説した「スキルUP」というコーナーを31カ所設けている。</li> <li>単元の最後に学習内容を振り返るページを設けている。</li> </ul>
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 単元導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入において1ページを使い、テーマ、地図や写真、キャラクターの吹き出しを掲載している。</li> </ul> <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するた</p>	<p>1 単元導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入において、見開き2ページに学習の視点や写真などを掲載している。</li> </ul> <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するた</p>	<p>1 単元導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入において、3ページにわたって、写真、イラスト、地図、キャラクターの吹き出しなどを掲載している。</li> </ul> <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するた</p>	<p>1 単元導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入において、見開き2ページにテーマ、地図、写真、キャラクターの吹き出し、クイズを掲載している。</li> </ul> <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するた</p>

発行者 観点	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
	<p>めの構成上の工夫</p> <p>○SDGsの視点から地域の課題を考え、課題を見つける、課題を調査する、要因を考察する、解決策を構想する、地域の将来像を提案する、という手順で示している。</p>	<p>めの構成上の工夫</p> <p>・地域の課題のキーワードをあげ、課題をとらえる、課題を調べる、地域に向けて発信する、という手順で示している</p>	<p>めの構成上の工夫</p> <p>・各地域の課題や持続可能な社会に向けて考えたことを振り返り、課題を把握しよう、地域をとらえよう、課題の要因を考察しよう、課題の解決に向けて構想しよう、構想の成果を発信しよう、という手順で示している。</p>	<p>めの構成上の工夫</p> <p>・日本の諸地域で扱った課題を振り返り、地域の課題と特色をつかもう、地域の課題の要因を考察しよう、課題の解決に向けて構想しよう、まちづくり会議を開こう、という手順で示している。</p>
内容の構成・配列・分量	<p>1 単元や資料等の配列・分量</p> <p>・総ページ数 302</p> <p>「世界と日本の地域構成」 27</p> <p>「世界の様々な地域」 107</p> <p>「日本の様々な地域」 142</p> <p>「その他」 26</p> <p>2 防災教育の充実</p> <p>・「自然災害と防災・減災への取り組み」のタイトルで2ページにわたって、自然災害と防災について記載している。特設ページ「もっと地理」で2ページにわたって災害の原因や仕組み、命を守る取組について記載している。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量</p> <p>・総ページ数 304</p> <p>「世界と日本の地域構成」 19</p> <p>「世界の様々な地域」 101</p> <p>「日本の様々な地域」 149</p> <p>「その他」 35</p> <p>2 防災教育の充実</p> <p>○「自然災害に向き合う」のタイトルで2ページにわたって、自然災害について記載している。</p> <p>○「災害から身を守るために」のタイトルで2ページにわたって災害から身を守るための取組等を記載している。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量</p> <p>・総ページ数 310</p> <p>「世界と日本の地域構成」 24</p> <p>「世界の様々な地域」 104</p> <p>「日本の様々な地域」 166</p> <p>「その他」 16</p> <p>2 防災教育の充実</p> <p>・「日本のさまざまな自然災害」のタイトルで2ページにわたって、様々な自然災害について記載している。</p> <p>・「自然災害に対する備え」のタイトルで2ページにわたって防災・減災の取組について記載している。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量</p> <p>・総ページ数 298</p> <p>「世界と日本の地域構成」 22</p> <p>「世界の様々な地域」 95</p> <p>「日本の様々な地域」 156</p> <p>「その他」 25</p> <p>2 防災教育の充実</p> <p>・「地震・火山災害からみた日本の地域的特色と地域区分」「気象災害からみた日本の地域的特色と地域区分」のタイトルでそれぞれ2ページにわたって地震と火山災害、気象災害について記載している。</p> <p>・「災害にそなえるために」のタイトルで2ページにわたって防災・減災の取組を記載し、特設ページで東日本大震災について扱っている。</p>
内容の表現・表記	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用</p> <p>○掲載数</p> <p>・写真 171</p> <p>・絵図 12</p> <p>・地図 52</p> <p>・図表・グラフ 50</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文ふり仮名の文字濃度を薄くしている。</p> <p>・円グラフと帯グラフではグラフ内に文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りしてあり、折れ線グラフはデータごとに色を変えている。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用</p> <p>○掲載数</p> <p>・写真 132</p> <p>・絵図 6</p> <p>・地図 52</p> <p>・図表・グラフ 39</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>・円グラフと帯グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りしてあり、折れ線グラフはデータごとに色を変えている。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用</p> <p>○掲載数</p> <p>・写真 155</p> <p>・絵図 6</p> <p>・地図 41</p> <p>・図表・グラフ 53</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>・円グラフと帯グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りしてあり、折れ線グラフはデータごとに色を変えている。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用</p> <p>○掲載数</p> <p>・写真 145</p> <p>・絵図 8</p> <p>・地図 32</p> <p>・図表・グラフ 63</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントを使用している</p> <p>・円グラフと帯グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りしてあり、折れ線グラフはデータごとに色を変え、実践と点線で示している。</p>
言語活動の充実	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <p>・単元のまとめにおいて、テーマについて、自分の言葉でまとめる活動を記載している。</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <p>・各単元のまとめにおいて、「ワードチェック」、「地図を使って確かめよう」、「表現しよう」、「意見を交</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <p>・各単元のまとめにおいて、「特色と課題を整理しよう」、「『節の問い』への考えを説明しよう」、「【発展</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <p>・単元のまとめに「アクティビティ」を設け、話し合い、ディベート、関係図づくり、キャッチフレーズ</p>

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
	<ul style="list-style-type: none"> <li>書く活動として「小学生への説明原稿」、「サミットでのスピーチ原稿」等、具体的な場面を想定したまとめを取り入れている。</li> <li>各単元のまとめの最後には「自分の言葉でまとめましょう」という表現活動を記載している。</li> </ul>	<p>「換しよう」という一連の流れで表現活動を設定している。</p>	<p>持続可能な社会に向けて考えよう」の3つのステップで示し、課題によって「説明しよう」「話し合おう」などの表現活動を記載している。</p>	<p>づくり等の様々な表現活動を記載している。</p>